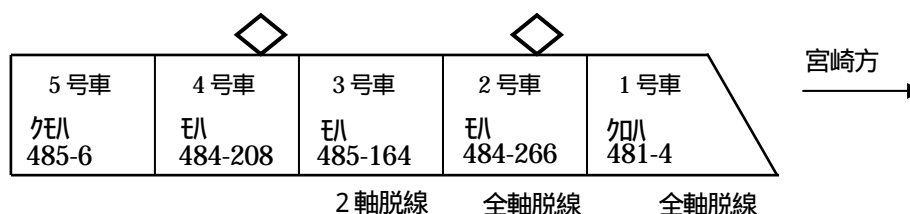


日豊本線 南延岡駅構内における列車脱線事故について

平成 18 年 9 月 28 日
九州旅客鉄道株式会社

1. 事故種別 列車脱線事故
2. 発生日時 平成 18 年 9 月 17 日 (日) 14 時 05 分頃 天候 雨
3. 発生場所 日豊本線 南延岡駅構内 (小倉駅起点 258 k 310m 付近)
4. 関係列車 特急電第 5009M 列車 (別府発 宮崎空港行) 485 系 5 両
(鹿児島総合車両所所属)



5. 原因 調査中

6. 概況

当該列車の運転士は風規制のため速度 25km/h 以下で運転中、前方に何か飛ぶのが見えるとともに、架線にトタン板が掛っているのを発見し直ちに停止手配を取った。停車した瞬間に列車が浮いた感じがして助士席側に倒れ込み、列車の先頭車と 2 両目が進行方向右側に横倒しになっているのを認めた。

7. 関係者

宮崎総合鉄道事業部 (宮崎車掌センター) 車掌 44 歳 現職経験 19 年 6 ヶ月
宮崎総合鉄道事業部 (宮崎運輸センター) 運転士 46 歳 現職経験 20 年 4 ヶ月

8. 付記事項

- (1) この事故により 6 名のお客さまと運転士が軽傷を負った。負傷されたお客さまは、パトカーの先導を受け社員の自家用車で病院に搬送、診断は打撲、擦過創などであった。
- (2) 当該列車は台風接近に伴う強風のため、津久見～日代間及び宗太郎～市棚間で運転規制を受け延岡駅に 40 分遅着した。
- (3) 輸送指令員は、13 時 32 分に五ヶ瀬川橋梁設置の風速計 (規制区間は延岡～南延岡間) が警戒鳴動 (速度 25 km/h 以下) し、延岡駅で 5009M 列車の乗務員に運転規制を通告した。
なお、この風速計の設置位置と事故現場の距離は約 1770m ある。
- (4) 当該運転士は延岡駅で乗継ぎ、運転通告券を受領し同駅 47 分遅発した。なお、通告内容は「南延岡～宮崎空港間運休、延岡～南延岡間 25km/h 以下」であった。車掌も延岡駅で乗継ぎ、同じ内容の通告を受けた。

- (5) 車掌は延岡駅を出発後、5号車の最後部乗務員室で南延岡駅に到着する案内放送を行っているとき、窓ガラスの割れる音が聞こえ、その後列車が急停車したため運転士に連絡すると脱線した旨の報告を受け車内調査を行った。
- (6) 先頭車と2号車は全軸、3号車は下り方2軸が進行方向右側に脱線、先頭車と2号車の車体は進行方向右側に横倒しになった。
- (7) 9月18日は、上り方は延岡駅折り返し、下り方は日向市駅折り返し運転を行い、延岡～日向市駅間はバス代行輸送を行った。
- (8) 9月18日航空・鉄道事故調査委員会と警察の復旧許可を受け、13時23分から復旧作業に着手し、19日0時12分に復旧した。その後、延岡～日向市駅間で確認列車を上下運転、上り列車は日向市駅 5084M から、下り列車は延岡駅 5083M から運転開始した。
- (9) 台風13号の九州接近に伴い、9月17日8時00分に本社と鹿児島支社に災害警戒対策本部を設置、その後各支社も設置した。17日、台風は九州の西側海上を北上、18時過ぎに長崎県佐世保市に上陸し20時頃に日本海に進んだ。

9. 関係図

(1) 脱線の状況



(2) 現場略図 別紙

現場略図

